

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2005年12月26日

62号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

障害者週間を中心に

年末を控えなお活発な活動が



今年も残すところあとわずかとなりました。ここしばらくの寒波で、久しぶりに厳しい冬を感じています。障害者の皆さんにとって横浜の気候は、比較的住みよいところだと思いますが、いつも雪の深い地方に暮す方たちは、例年に比べていっそう多い雪にどうしているかしら.....と話しているところです。

* * *

毎年この季節には、障害者週間にあわせ集会有ります。前号でも少しお知らせしましたが、今年も「障害福祉の未来を考える集い」が、横浜市庁舎の前の横浜公園でひらかれました。

思いがけず暖かな小春日和に恵まれましたが、障害者自立支援法のこともあり、参加者はいつもより多い1800人にのぼり、いろいろな立場の人たちが、次々と発言していました。また、障害者が書いたたくさんの“手紙”を50人の代表者が持って横浜市にとどけました。

自立支援法については、また学習会をしたいと考えていますが、これまで別になっていた精神障害や知的障害、身体障害が統合されるなど、良い点はあるものの自己負担金が増えるなど、困ることもたくさんあります。このことに限らずとかく政治的には良い点ばかり宣伝されますが、きちんと大切なことを見定めていく習慣を持ちたいものとおもいます。

* * *

さて、この障害者週間にあわせセイフティーネットの取り組みとして、コンビニエンスストアなどにパンフレットとコミュニケーションボードを配布する活動がはじまりました。このパンフレットは横浜市と市民による協働で立ち上げた「セイフティーネットプロジェクト横浜」が製作したものです。

私たちの港北区では各団体が分担し、全部のコンビニエンスストアなどに配布しました。好意的に受け止めてくれるところばかりではありませんが、説明をしながらまわっています。ただ配布にとどまらず、本当に効果を上げるためには、これからも何度か声かけをしていく必要があるのではないかと思います。

また港北区社協のセイフティーネット推進委員会ではこれに先立ち、障害者の権利擁護とこの活動について千葉県で実践している方から学ぶ講演会を開きました。たくさんの方が参加して運動の大切さと関心の高さを実感させられました。

横浜市長への手紙

12・9「障害福祉の未来を考える集い」で、よつばホームと

第2よつばホームの入居者が出した手紙を紹介します。

横浜市長 中田 宏 様

毎日お忙しいと思いますが お元気ですか。

私のいるグループホームは、重度重複の でも元気な人たちが
4人で住んでいます。

重い障害者の私たちは、たくさんの人手が必要なので、ヘルパーさんも入れていますし、
介助のための負担金をたくさん払っています。

今度 自立支援法に変わると デイサービスや、ヘルパーの自己負担金が増えることにな
ります。たくさんヘルパーをたのむ 私たちは、たくさんお金がかかるのです。

私たち障害者も ただ 食べたり、寝たり、デイサービスに行つてすごしたりするだけ
でなく、たまには 花を買つたり 絵を見に行つたり 音楽を聴きにいつたりしたい。外
の風にふれる ゆとりが欲しいと思います。そのためのポケットマネーも 残せるように
したい。グループホームに もっと職員や アルバイトを 入れられるように補助金を
増やしてください。

重い障害を持った人を 助けてください。

私たちも 普通の人と同じように 生活をしたいと思います。

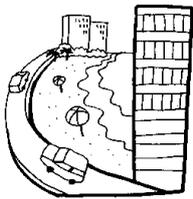
障害者グループホーム 『第2よつばホーム』入居者 (O)



今までの生活の状態を続けたいので、今の制度から大きく変わるとこまります。

私は、ガイドヘルパーと出かけることも多いのですが、これからも美
術館や映画を見に行つたり、いろいろなところに散歩に行つたり、電
車やバスを使って出かけたかったので、今までどおりに暮らせるようにし
てください。よろしくお願いします。

『よつばホーム』入居者 高島勢津子



NPOへの道 ②

12月8日、「支える会」の3役で、神奈川県庁へ行き担当者と面談をしました。活動内容や趣
旨、定款の諸項目については問題がないということで、今後の進め方などについてアドバイスをう
けました。申請を受け付けてからおよそ4カ月が必要ですが、その前に総会を開き、設立後2年
分の事業計画と、事業収支予算などを決めなくてはなりません。

総会は、1月下旬で調整中です。決まり次第、会員には文書で招請いたしますが、賛助会員
のかたの出席も歓迎いたします。後ほどお問い合わせ下さい。



めがねのこえ

今年は 寒い12月です。

この前は 下田町の小学校へ 福祉の体験学習で活動ホーム「しもだ」の人も よばれて行きました。

下田小学校では 各学年でそれぞれ 体の不自由な人の体験をする授業があります。

5年生は 車イスの体験で サンヴァリエ日吉のボランティア会の人たちが 指導して 全員の生徒が 車イスを押したり乗ったりしました。

ちょうど 寒い時なので 障害者は 私一人だけ参加しました。

私が まとめの時間に 少し話しをしました。こういう体験は はじめてでしたが いろいろな車イスがあることや 生活の話しをしました。私は 話せないので トーキングエイドを 使って話しましたが みんなよく聞いてくれて 質問もありました。

いろいろな機械を使って 生活している事などを話してみても 自分でも「ほんとうに 皆の手を借りたり 機械を使って生活しているんだな...」とおもいました。小さな物は 歯ブラシから パソコンや車イスまで... 連絡などには メールやFAXを使ったり など いろいろな物をつかっています。

* * *

今の学校では福祉の勉強もしますが 私の妹の頃は 本だけで体験などは 無かったと思います。ちょっと いろいろと勉強もかわりました。

今は勉強をたくさんしたり パソコンやゲームで遊ぶのか 休日でも子供の声が聞こえませんが。私は少しうるさくても子供たちの声が聞こえているほうが好きです。いい地域にいるなという気がします。

こんな時だから 福祉の勉強をすることは 大切だとおもいます。いまの子供たちが大きくなって お年寄りたちをやさしく見てあげる人になればいいなと夢見て お話しをしました。 この5年生の子供たちがどうなるか楽しみです。

大原 友子

ありがとうございます

《賛助会員入会》 [敬称略]

岡村 貞子

* ご寄付 花陽の会 (代表 三上園東巳) 様よりチャリ



ティーコンサートによるご寄付をいただきました。心よりお礼申し上げます。

今月のよつばホーム

よつばホーム

2005年も残りあと少し。毎年のことですが、「早いネエ」なんて言っています。12月になるとリビングにクリスマスツリーが飾られ、次郎さんと勢津子さんは年賀状書き、藤田さんと花岡さんは2人で今年はやった歌を特集する番組など観て過ごしています。今年1年は週末の外出の機会がだいぶ増えたように思います。映画やデパートまで行く機会はまだまだ少ないかもしれませんが、新羽まで散歩がてらコーヒーを飲みに行ったり、マックスバリュやエスポットに必要な物を買に行く頻度は多かったように思います。

活動ホームからのボーナスが出たら、そのお金を手にみんなで回転寿司に行く予定です。来年も元気にスタートを切っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

第2 よつばホーム

12月も半ばになり、寒さが朝、夜とも身にしみるようになってきました。体を温めるのと一日の疲れを取ってくれる入浴での女性入居者とのひと時を今回はお話したいと思います。



帰宅して1番に入浴するのは富岡章子さんです。章子さんの入浴はリフトを利用しています。職員たちと一緒に湯船につかると気持ちいいのか最近では目をつぶってウトウト・・・としている時もあります。あとは章子さんが大好きなミッキーマウス&ミニーのおもちゃで遊んだり、今日は日中〇〇したんだねえとお話をしたりすると笑顔で応えてくれます。

体や頭をきれいに洗ったし、“さあておいしい夕飯が待ってるよ”と入浴を終わります。体が温まったところで夕飯まで少しお部屋で過ごします。

さて、大原友子さんの方は入居者の中で最後の4番目に入浴します。友子さんは職員だけでなくいろいろなヘルパーやバイトの方とも入浴をしています。今日の話をしてくれたり、これからの予定を話してくれたり、ゆったりとお話をする時間にもなっています。

友子さんはお風呂が好きですが、一緒に入浴をしているヘルパーさんの中にもこの「よつば湯」を広くて気に入ってくれている方もいます。時には友子さんを含めて3人で入浴したり銭湯の様な感じで入浴を楽しんでみたりします。友子さんは入浴を終えた後は少しお部屋でテレビを見てから就寝します。